

## むつみ中生徒が学校林でマツタケ狩り

令和5年10月19日（木）、萩市高佐下の学校林において、萩市立むつみ中学校の1～3年の生徒15名が、地元林業研究グループ「むつみ林業振興会（会長：高橋正演）」の指導のもと森林の教室を行いました。

同校では、ふるさとの恵まれた自然に触れ自然からの恩恵に感謝し、森林・林業の役割や重要性を学ぶとともに、豊かなむつみの森林を次世代に引き継ぐため、年3回、「森林の教室」を行っています。

今回は、むつみ中学校ならではのマツタケ狩りを通じて、森林と環境問題等に対してより深い関心を持つように行われました。

生徒たちは、入山の注意を聞いた後、一斉に学校林に分け入って行きました。林業振興会会員の指導を受けながらマツタケを見つけようと急斜面のアカマツ林内に散らばり、一生懸命探していました。

マツタケを見つけた生徒は、大きな声で「あった」とうれしそうに叫び、丁寧に採取していました。

今年は35本、1.1キロの収穫があり、関係者全員、森林の恵みを満喫しました。マツタケは、後日、給食の食材としてふるまわれました。



発見！



収穫後の記念撮影